

あつべつ

なんでも

イチバン

街の四季を彩る街路樹

豊かな自然に恵まれた厚別区。公園や緑地とともに街路樹も、近代的な街並みに潤いややすらぎを与えています。また街路樹には、四季を彩り人々の目を楽しませるだけでなく、排気ガスや騒音を緩和するなどの効果もあります。

区内に植えられているさまざまな種類の街路樹は、四万三千三百九十六本（平成十五年四月一日現在）。そのうち高木で一番多いのはイチヨウ（五千七百七十九本）で、次がナナカマド（三千七百七十三本）、そしてニセアカシア（二千六百九本）と続きます。イチヨウの数は十区の中でも一番多く、全市の約五分の一に相当します。

ちなみに全市では、多い順にナナカマド（三万七千五百六十六本）、イチヨウ（二万五千四百九十九本）、ニセアカシア（二万四千五百十八本）となっています。

区内最多のイチヨウが最も長く続くのが、厚別中央通です。途中に狭む〇・六^ノのシダレヤナギを除き、全体で二・九^ノあります。さらに二カ所、これよりもっと長い並木が

あります。一番長いのは、南郷通のニセアカシア並木。区内だけでも四五^ノ、その先地下鉄白石駅までを含めると、七^ノにも及ぶ市内でも最大級の並木です。次はもみじ台通のナナカマド並木で三・八^ノ続いています。

秋も深まり、緑に包まれていた街が黄金色のイチヨウや、赤いナナカマドなどの華やかな装いに変わります。やがて葉が落ち、その上を雪がうっすらと覆うと、白く長い冬の始まりです。通勤、通学、買い物道すがら、街路樹が季節の移り変わりを教えてくれます。



(上)南郷通のニセアカシア並木
(右)ひばりが丘通のルブラムカエデは区内では珍しい種類

区役所掲示板

守って！ごみ出しマナーとルール

ごみステーションは、収集までの間、ごみを一時的に置いておく場所です。ごみ捨て場ではありません。ごみを収集日の前日や収集後に出すと、カラスなどが散らかす原因になります。きれいな街の環境を維持するため、皆でマナーとルールを守りましょう。

一、「燃やせるごみ」、「燃やせないごみ」、「びん・缶・ペットボトル」、「プラスチックにきちんと分け、中身の見える袋に入れて出す。

二、住んでいる地区の決められた収集日を守り、**当日の朝八時三十分までに出す。**

三、「びん・缶・ペットボトル」と「プラスチック」は、**水で軽くすすいで**から出す。プラスチック製のふたはプラスチックへ、プラスチック製以外のふたは燃やせないごみへ出す。

四、台所のごみは水をよく切ってから出す。カラスの被害を防ぐには、見えないように新聞紙や内袋で一度包んでごみ袋の奥に入れ、しっかりと縛ると効果的。

五、紙おむつは、活物を除いてから出す。



六、ガラスの破片や割れたびんなどは厚紙で包み、中身の見える別袋に「キケン」と表示して出す。
七、スプレー缶は、中身を使い切った後、風通しの良いところで穴を開け、中身の見える別袋に入れて出す。
八、**ごみステーションには出せないごみ。**

○大型ごみは戸別有料収集。まず電話で申し込みを。

【申込先】大型ごみ収集センター
☎(81)8153（受け付けは月曜日～金曜日の午前九時から午後四時三十分まで）

○テレビ・冷蔵庫・洗濯機・エアコンは販売店などにご相談を。

ごみの分別で困ったとき、「家庭用ひと目でわかるごみ分けガイド」が便利です。中には約千百品目の分別を五十音別に整理した「ごみ分別辞典」も入っています。区役所一階の総務企画課広報係で配布しています。

【詳細】白石清掃事務所
☎(876)1753